## <u>(ダラキューロ)Dara+CyBorD療法【1コース目】(Day8,15,22)</u>

■エンボス

## 【血液内科】161-8,15,22【全身性ALアミロイドーシス】 (第 コース目)

\*網かけ部分は必須記入事項

診療科:	病棟:
医師名:	印

身長:	cm	体重:	kg
体表面積:	m <sup>*</sup>	Cr:	mg/dL

Day	1	2	8	9	15	16	22	23	~28
施行日	/	/	/	/	/	/	/	/	/
ダラキューロ	<b>1</b>	休薬	1	休薬	1	休薬	<b>1</b>	休薬	
ベルケイド	1	休薬	1	休薬	<b>↓</b>	休薬	1	休薬	
オルガドロン	1	休薬	1	休薬	1	休薬	1	休薬	
レナデックス(経口)	休薬	↓ ↓	休薬	$\downarrow$	休薬	$\downarrow$	休薬	1	
エンドキサン(経口)	Ţ	休薬	↓	休薬	Ţ	休薬	Ţ	休薬	

■投与順序 ※マークは同タイミング投与薬あり

_=	■投于顺力	7 X Y — 7	は向うイミング技・学院のグ
L	滴下順	投与時間	
	<b>X</b> (1)	10時	生食 100mL 2時間
			カロナール内服 → 別途内服オーダ
			モンテルカスト内服(Day8以降は主治医判断)
	<b>X</b> 1	10時	同時にポララミン注5mg 1A
			側管より オルガドロン注19mg 1V
			生食 100mL 30分
	2	ダラキューロ	●ベルケイド【 】mg
		投与前	生食 1.2mL 皮下注射
			※ベルケイド1Vを生食1.2mLで溶解
	3	11時30分	●ダラキューロ配合皮下注 1V ロフェンション
			■タフィューロ配音及下注   ▼
			※臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下

■投与量 ※投与量の参考

薬剤名	標準排	<b>设</b> 与量
ダラキューロ	1	回 1V(15mL)
ベルケイド	$1.3 \text{mg/m}^2$	mg/Body
オルガドロン	mg/m <sup>2</sup>	19mg/Body
レナデックス(経口)	mg/m2	20mg/Body
エンドキサン(経口)	300mg/m <sup>2</sup>	mg/Body

※ダラツムマブとして1800mg

※最大週間投与量 500mg

- ■注意·確認事項
- ○ダラキューロ投与中または投与開始後24時間以内に infusion reactionが起こる場合があるので注意すること。

入力 薬剤師	看護師	看護師